

令和8年度 第1回 学校運営協議会議事録

日時 令和8年5月27日

時間 15:45~17:00

(出席者 敬称略)

【委員】

(出席者)

- 内川 隆 (本校同窓会長)
- 佐藤 吏里 (横浜市青葉区こども家庭支援課 学校連携・こども担当課長)
- 鈴木 秀幸 (青葉区市ケ尾町在住)
- 長濱 洋二 (本校PTA会長)
- 濱部 剛 (横浜市立市ケ尾中学校長)
- 小林 紀知 (SOLIZE Holdings 株式会社 Sustainable Creativity Lab 所長)
- 富澤 桂子 (本校校長)

(欠席者)

- 飯島 正徳 (東京都市大学理工学部自然科学科教授)
- 河原 克宣 (桐蔭横浜大学スポーツ科学部客員教授)
- 野呂 隆 (あおば支援学校長)

【事務局】

(出席者)

- 濱川 剛行 (本校副校長)
- 坂本 和啓 (同 教頭)
- 岩村 美津子 (同 事務長)
- 相山 真二 (同 学校運営協議会担当)
- 清水 洋行 (同 学校運営協議会担当)

(欠席者)

- 小林 聖 (同 学校運営協議会担当)

【本校各グループリーダー】

(出席者)

- 好田 寛子 (本校 カリキュラム開発グループリーダー)
- 本屋敷 隆裕 (同 キャリア支援グループリーダー)
- 冠野 由紀子 (同 生徒会支援グループリーダー)
- 佐久間 健三 (同 生徒指導グループリーダー)
- 木村 秀樹 (同 管理運営グループリーダー)

- 中村 洋行 (同 地域連携・広報グループリーダー)
(欠席者)

なし

- 1 校長挨拶
- 2 委員紹介
- 3 本校関係職員紹介
- 4 会長等選出
- 5 会長挨拶

会長：鈴木委員

6 報告事項《○：委員 ●：学校》

(1) 令和8年度学校運営協議会について

本年度の予定

第1回 本日5月27日(水)

第2回 10月31日(土) オープンスクール 同日 第1回学校評価部会・地域協働部会

第3回 3月23日(火) 同日 第2回学校評価部会・地域協働部会

(2) 学校からの報告について

- 第53回入学式は体育館改修中のため4月7日に関内ホールでおこなわれた。

入学式後新入生歓迎会(動画による部活動紹介)

- 遠足について

1年はソレイユの丘

2年生は秋の修学旅行の羽田集合の練習も兼ねて東京遠足

3年生は東京ディズニーシー

- 5月28日に芸術鑑賞会

今年度は演劇「EDDIE エディ」(劇団イング)観劇

- 体育祭(白鷺祭)について

6月9日(火)雨天順延

- 進路実績について

大学への進学希望者が相変わらず多いが国公立受験の人数が減少した。進学準備の人数は例年より増加した。指定校推薦で進学する生徒が多かった。2年の修学旅行明けに受験モードに意識を切り替え始めるとみられる。

- 学校広報活動については平日の学校見学が本日から始まり、資料記載の通りに行う予定。

- 部活動について主な成績としてダンス部が日本高校ダンス部選手権新人戦で優秀賞、陸上部女子2名が南関東大会出場、書道部が「全国高等学校総合文化祭」出場
- 全公立展などでの受験生の市ケ尾高校に対する印象やリアクションを伺いたい
- 全公立展では生徒会の生徒も参加させる。過去説明会では列が途切れないほど盛況している。
- 大学別の合格者数の目標設定をしているのか
- 個々の大学に対する合格数値目標は掲げていない。本人たちが一番行きたがっている大学、やりたいことができる大学を受ければ良い。
- 3年生遠足でディズニーシーに行くことのねらいはなにか
- 新学年になって人間関係の構築の手助け、早いうちにクラスに馴染めるようスムーズなコミュニケーションを取ることをねらいとしている
- 5月の連休明けで登校が難しくなってしまう生徒はいるか、そしてどのようなケアをしているか
- 休み始める生徒は徐々に見られてきたが、5月の連休後に一斉に休みが増えるというわけではない。本人の希望を聞きつつSCやSSWなどにつなげるようにアドバイスしつつ、オンラインや通信教育に似た「柔軟な学び」という方法も活かし生徒の状況に応じて活用し学校に来られるような手立てをたてている。

(3) 学校目標等について

●教育課程 学習指導

探究的な学びをキーワードに学校一丸で授業づくりに取り組んできた。昨年度10月電子黒板を導入し、そういったICT機器を活用し更に充実させていこうと考えている。問題解決能力の育成の実現に向けた授業改善を意識し、生徒に考えさせる”知識を深める・定着させる授業”の取り組みを行っていく

●生徒会支援

学校行事や部活動が盛んであり、教員が指導するというよりは生徒が自主的に考えて活動できるように支援していこうと考える。生徒同士で話をしながら課題をみつけて解決していく力を身に付けさせたい。

●生徒指導

日々遅刻や服装の指導、人権や性感染、交通安全そして携帯電話の使い方の研修等もおこなっている。年2回のサポートドッグというシステムを利用し、生徒から出た不安や悩みといった問題を、担任を中心にSC、SSWで共有し手厚い支援をおこなっている。

●進路指導・支援

1年生は職業分野別説明会を開き、自分がどのような職につきたいか、その職につくにはどのような学部学科に進学すべきかを考えさせる。2年生では大学から講師を招き模

擬授業を受けてもらい、後半ではどのような受験形態があるかを調べさせる。3年生では模擬試験を受けさせ、最高の状態で受験に臨めるように3年間を通して指導している。

●地域等との協働

本校合唱部が地域の施設に伺い歌を披露するといった活動を行っている。もっといろんな部活動が交流という形で地域の方と関わり合える機会を増やせるよう一層推進させていこうと考える。学校説明会ではここ数年生徒に説明させる形態を試みている。今年度から広報委員を新しい委員会として設立し、説明会の待ち時間等に利用できる動画の作成をしてもらっている。今年是这样いった外部には伝わりづらい活動をホームページに載せていき市ケ尾高校の良さを発信できれば良いと考えている。

●学校管理・学校運営

学校に関する施設・環境整備・美化・防災等を管理し、式典や行事予定・PTAとのつながりなどを主に運営している。生徒と向き合っていく中で人権に対する知識や技能が必要なため研修の場を設けている。また、教職員に対して業務を効率よくこなすべく持続可能な学校づくりとして定期的なストレスチェックをおこない、結果を利用し働き方の改革を見つめなおしていく。

(4) その他【質疑応答、意見】

- 最近多いといわれている高校生を巻き込んだ犯罪に対して学校のサポートも必須である。学校でもそういった若者を巻き込む犯罪への対策を指導し方針を示していただきたい。
- 探究学習をはじめとした”ゴールが決められていない科目”に対する成長のサポートを市ケ尾高校はどのように手厚く取り組んでいこうと考えているか。
- 外部の講師を呼び職員の研修を充実させ、生徒個人の課題をしっかりと理解したうえで生徒一人ひとりにどういった活動が適しており、有効なのか見極め還元していきたい。
- 一部資料においてやる側の指標と対象者の目標が混在している。指標に対して具体的な数値目標を上げておくと年度終わりに項目が達成できたかどうかわかりやすい。
- 自転車のルール改正に関して学校としても違反しないように指導してほしい。
- 何かをしたい！という気持ちを強く持った生徒の育成を志してほしい。

7 その他

次回の学校運営協議会の開催は10月31日（オープンスクールの後）を予定している。